

■首都圏で入試を実施する主な地方の私立中高

北海道	函館ラ・サール
	北嶺
岩手県	盛岡白百合学園
福島県	福島成蹊
長野県	佐久長聖
	松本秀峰
栃木県	佐野日大
静岡県	静岡聖光学院
	日大三島
	不二聖心女子学院
富山県	片山学園
石川県	金沢学院大付属
愛知県	海陽
奈良県	西大和学園
愛媛県	愛光
佐賀県	早稲田佐賀
長崎県	長崎日大
宮崎県	宮崎日大
沖縄県	沖縄尚学

地方の中高一貫校 増える東京入試

1月10日から行われる埼玉県内の私立中高一貫校の入試を皮切りに、首都圏の中学入試が本格的に始まる。同じ時期に、地方の中高一貫校も首都圏で入試を実施。2025年は、新たに2校が東京での入試に乗り出す。「腕試し」とされがちな地方校の入試に、変化が起きている。

「腕試し」の先へ進学実績・環境アピール



松本秀峰中等教育学校で昨年、行われた学校説明会。東京で実施される試験などについて説明した。=2024年10月、同校提供

松本秀峰中等教育学校
(長野県松本市)も8日、初めて東京で入試を実施する。広報担当者は「地方は人口減にある。首都圏からも来てほしい。ゆとりとした環境で学びたい」と話す。

背景には少子化がある。「地元だけでは募集が苦しい。より生徒を獲得したいのでは」。首都圏の受験生にも変化がみられ、「進学意思のある受験生が、以前より増えたのでは。勉強に集中できる環境を整う家生活に、魅力を感じるのではなか」とも。

大学受験の面でも魅力という。地方大の医学部には、地元しか受けられない入試枠がある場合が多い。県外より、合格す

たいニーズの受け皿にもなりたい」と話す。24年は、移住を検討する家庭や帰国を控えた海外在住の家庭からの問い合わせがあったという。

首都圏で入試を行う地方の一貫校は、北嶺(北海道)や海陽中等教育学校(愛知県)、早稲田佐賀などがある。また、栄光ゼミナール入試情報センターの藤田利通さんによると、新たに2校が実施するのは「珍しい」と言う。

確率が高まる期待がある。福島成蹊も、県内の高校が受験できる地域から、入り口と出口を比べ、高い合格率をアピールする。藤田さんは「首

都圏の中高より、倍率が抑えられがちな地方校に、医学部を狙えるなら、入り口と出口を比べ、高い合格率をアピールする。藤田さんは「首

は」とみる。(本間はる

は」とみる。(本間はる